

◆こどもがまんなかPROJECT

こどもが まんなか PROJECT が朝日新聞に意見広告

こどもがまんなかPROJECT推進会議では、「こどもの権利」「こどもと家族の健康」「国際的支援活動」「こどもがまんなか生活」「日本文化・地域文化の継承」「共生」の6つの柱を掲げ、全国各地でイベント等を通じてこどもがまんなかプロジェクトの活動を展開しています。

「こどもの権利」での活動では、この度、朝日新聞紙面（2012年9月5日朝刊）に意見広告を掲載しました。紙面では、こどもがまんなかプロジェクトに協賛する企業各社が、子どもの権利条約で謳われている“生きる”“発達する”“保護される”“参加する”の4つの子どもの権利に通じる自社の取り組みを紹介する形で、子どもの立場に立って“社会全体で子どもたちのことを考える”「こどもが まんなか」の社会づくりを全国に呼びかけました。

また、「国際的支援活動」では、東日本大震災で被災された方々や園等に対する震災復興と「世界の子どもとお母さんの命を守る」ための国際的な支援活動のための協力金を募集しています。近日、募金活動のための募金箱を各園にお届けいたしますので、募金箱をご活用いただき、ぜひとも「こどもがまんなかPROJECT協力金」にご協力くださいますようお願い申し上げます。

「こどもが まんなかPROJECT」と「全日私幼PTA連合会(幼稚園ママ.com)」のホームページ

私立幼稚園.com

<http://www.shiritsuyouchien.com>



この度、「こどもが まんなかPROJECT」と「全日本私立幼稚園PTA連合会(幼稚園ママ.com)」のホームページをリニューアルさせていただきました。コンテンツも充実し、より一層使いやすく、より見やすいホームページとなりました。ぜひご覧ください。

[本号は2枚]

こどもたちの毎日の生活の中に、「良いこと」「楽しいこと」の繰り返しがありますか？

こどもの心の声に耳を傾けていますか。
 こどもの基本的な生活リズムや習慣が
 不規則になっていませんか。
 自然な親子の会話やこども同士の
 コミュニケーションが希薄になっていませんか。
 わたしたちは、大人の立場や
 効率を優先しがちです。



こどもは社会の一員です。
 こどもの思いを尊重し、
 こどもにとって何が最も良いことかを
 みんなが真剣に考え、行動しましょう。
 「こどもがまんなか」を日本の国で実現しましょう。
 家庭・地域・学校・企業が手を携えて
 一歩ずつ前進していきましょう。

「子どもの権利条約」を知っていますか？
 国際連合が1989年に採択した「子どもの権利条約」は現在、世界193の国と地域で締結されています。日本は1994年に批准しています。条約では、「生きる」「発達する」「保護される」「参加する」の権利をあげています。子どもにとって最もよいこと(子どもの最善の利益)が優先され、子どもも大人と同じ人間(権利の主体)として尊重されなければなりません。6つと国民の多くの人々に知ってほしい条約です。

はぐくむ

銀座こぎコーナーのスイーツは、クリスマスや誕生日などのお祝いを楽しく華やかに彩ります。四季折々の伝統的な行事のかわりに、いつもこどもたちが喜ぶスイーツがあつて、親子の絆や思い出を育みます。

スイーツを味わいながら、行事の由来を聞く

大人から行事の由来を聞き、こどもの健やかな成長を願う親の思いを感じてきました。時を経て、行事とともにスイーツが受け継がれてきたのはこの思いが、あればこそ、なので、スイーツの由来を、親子や家族の語りを通して、笑顔を広げることが、今では、大切なことだと感じています。そんな思いが、親子の絆を育みます。

GINZA Cozy Corner
<http://www.cozycorner.co.jp/>

つどう

20分運動したこどもの脳の働き

脳の前部を活性化し、学習能力や記憶力を向上させることができます。また、下記のBOKSプログラムを、実施したアメリカの教師と保護者のアンケートでは、このように変化しています。

BOKSが与えるポジティブな影響

担任教師へのアンケート結果 648人	Yes 60%
ディスカッションが活発になった	Yes 64%
課題を早く終わらせるようになった	Yes 59%
保護者へのアンケート結果 578人	Yes 89%
学校に行くのが楽しくなった	Yes 82%
活動に参加することが楽しくなった	Yes 84%

Reebok BOKS
<http://www.reebokjapan.com/>
<http://www.boks.jp/>

まもる

アップリカとグレコはこどもの笑顔を守るために、車内でも常に安全で快適な環境をお届けします。チャイルドシートを必ず、正しく使用して車内を笑顔と会話に満ちた楽しい空間にしましょう。

アップリカとグレコはこどもの笑顔を守るために、車内でも常に安全で快適な環境をお届けします。チャイルドシートを必ず、正しく使用して車内を笑顔と会話に満ちた楽しい空間にしましょう。

Aprica
<http://www.aprica.jp/>

いきる

「ハートプロジェクト」を通して、世界中のお母さんの命と健康を守る活動をサポートしています。

「ハートプロジェクト」を通して、世界中のお母さんの命と健康を守る活動をサポートしています。

HEART PROJECT
<http://www.katsura-ladys.com>

こどもがまんなかPROJECT

「お母さんの元気をを守るため、日頃からのプレストケアによる乳がんの早期発見を推奨しています。」

乳がんは、定期的なエコーで早期発見が女性に大きなメリットをもたらしています。特に子育ての時期と重なる年代から多くなり、家族の安心のためにも、月に一度の自己検診と検診センターの検診を受けましょう。

プレストケア
<http://www.breastcare.jp/>

チャイルドシート

チャイルドシートも、こどもがまんなかの第一歩です。

チャイルドシートも、こどもがまんなかの第一歩です。

年齢	2011	2012
1歳未満	80.4%	77.6%
1歳	66.2%	66.2%
2歳	34.6%	37.0%
3歳	57.0%	58.8%
4歳	59.9%	59.9%

監査行・JAFチャイルドシート使用状況全国調査

推進主体「こどもがまんなかPROJECT」推進委員会
 全日本私立幼稚園連合会、(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、全日本私立幼稚園PTA連合会

平成24年度 こどもがまんなかPROJECT 活動内容
 ○こどもの権利インテックス
 ○世界の子どもとお母さんの命を守る国際貢献
 ○こどもと家族の健康啓発
 ○日本文化・地域文化の継承
 ○こどもがまんなか生活フォーラム
 ○東日本大震災被災地の支援

私立幼稚園.com 検索